

藤樹人間学塾： 藤樹思想を学び考え実践する

塾長 田中 清行

「藤樹人間学塾」では、藤樹先生の著書を中心に思想を学ぶとともに、時事問題と組み合わせることで議論しながら考えを深め、日々の生活の場で実践することを目的に毎月開催しています。本稿ではその模様をお伝えいたします。

■一月、第三百三十三回人間学塾を開きました。大阪、京都からの参加の方を入れて十名でした。

●テキスト

中江藤樹著『鑑草』の第四巻 教子報の総論、第一話

●今日のポイント

子供を教育するとき、幼少のときは、行いや戯れなどはその子供に任せ、心が悪く染まらないうようによく教えるがよい。成人してからは、明徳を明らかにする工夫に努めさせる。

人間は自分の力でこの世に生まれ出たものではない。宇宙に内在している根本生命の力によって生み出されたものであるから、この世に生み出された意味を考える必要がある。

●フリートークキング

・「三千年も前に胎教が行われて

いたことに大変驚いた」
・「藤樹先生が、子供はのびのびと育てることが良いといわれていることに感心した」

■二月、第三百三十四回人間学塾を開きました。今回は初めての女性二名を入れて九名でした。

●テキスト

『鑑草』の第四巻 教子報の第二話〜第四話

●今日のポイント

・孟子の母がはたを切ったのは、孟子の学問探求を願う深い心から出たものである。

・貧困の中にあつて、人としての道を大切にすることは、子が廉直に励むことにつながる。

●フリートークキング



・「心学の教えは大切である。利禄の教えの千倍の価値があるといわれている。二千五百年前の儒教、仏教は人間の本质に関わることを教えている。日本人は宗教心が薄れているのが心配だ」

■三月、第三百三十五回人間学塾を開きました。大阪、京都から、そして新しい参加者を入れて九名でした。

●テキスト

『鑑草』の第四巻 教子報の第五話〜第七話

●今日のポイント

・人間は、相反する二つが備わって初めて成長していく。慈悲や優しさとともに人を寄せ付けないうほどの厳しさを持つ。

・人は皆、深いところで大いなる存在と繋がっている。私たちが大宇宙に生かされた存在であることに思いを馳せる習慣を持つ。

●フリートークキング

・「ありとあらゆるものが繋がっている。人間学を学ぶことはとても大切なことだと思う。清濁併せ呑む勇気も育てていきたい」

■四月、第三百三十六回人間学塾を開きました。大阪からの参加者を入

れて十名でした。うち女性二名。

●テキスト

『鑑草』の第五巻 慈残報の序と第一話

●今日のポイント

・継子をわが子と同じように慈しんで育てれば、必ず情が通じて良い親子関係が得られる。

・WBCで世界中の野球ファンを魅了した大谷翔平選手らの侍ジャパン。その侍ジャパンを世界一に導いたのは栗山英樹監督である。彼の思考法は、「艱難辛苦の日々を知恵にする」等々。

●フリートークキング

・「秀吉の妻、ねねが継子を慈しんで育て、継子が彼女を実の親のように慕っていたことが今日の話につながった」

・「栗山監督の話は非常にタイムリーで、彼が古典をよく勉強されていることが興味深かった」

等の意見をいただきました。ありがとうございます。ありがとうございます。

人間学に関心のある方は是非お越しください。無料です！

藤樹人間学塾 今後の予定

六月三日(土)、七月一日(土)、

八月五日(土)、九月十六日(土)

■時間 (原則) 十五時〜十七時

■場所 (原則) 安曇川公民館